

2005年度の進捗および 2006年度の計画

都市班社会経済G

金子 慎治

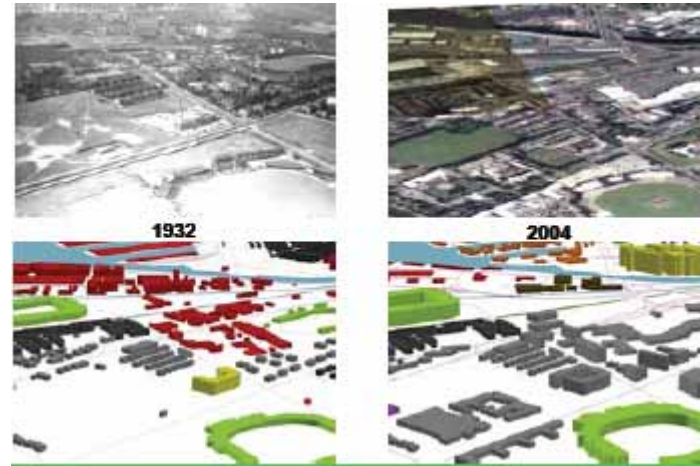
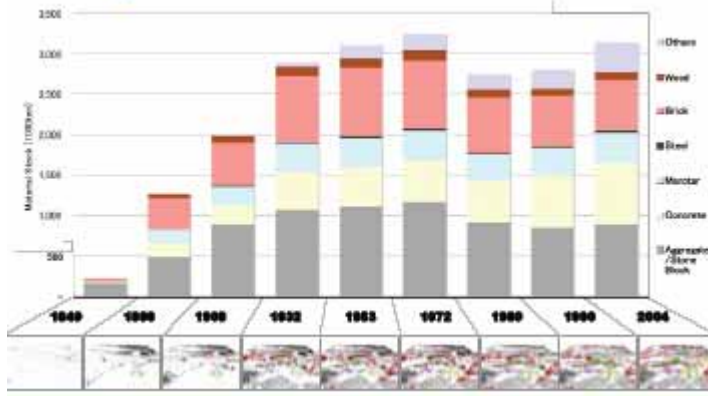
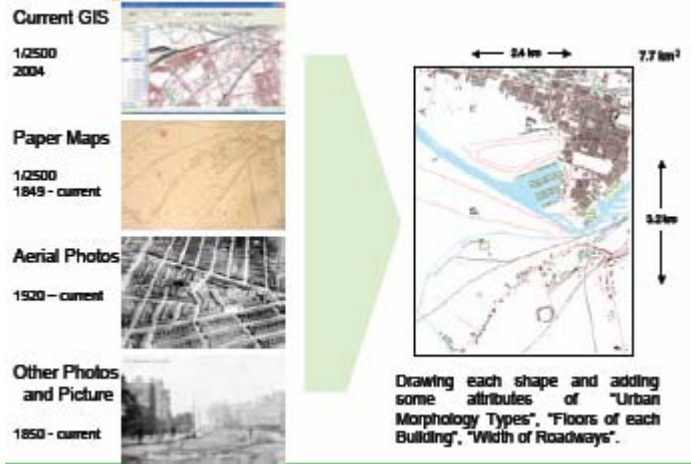
全体の研究スケジュール(長期)

- 2005
 - 詳細研究計画の完成、DPSEERモデル提案、DBの設計
- 2006
 - 発展史のレビュー、DPSEERモデル完成、指標の整備と比較、ステージモデルの提案
- 2007
 - 指標の整備と比較、ステージモデル改善、システムダイナミクスモデル提案
- 2008
 - ステージモデル完成、システムダイナミクスモデル改善、DB完成
- 2009
 - システムダイナミクスモデル完成、政策分析
- 2010
 - まとめ

個別テーマについて

1. City-specific urban demographic model to quantify the driving forces in long-term urban population growth
2. Urban land use and land cover changes and its related planning policies
3. Technology and institutional assessment for the long-term development of water supply and waste water treatment infrastructures
4. Dynamic material flow analysis with special focus on carbon, nitrogen and phosphorous.
5. →都市のマテリアルストック(建物)の推計(和歌山大学、谷川寛樹)

マテリアルストック (谷川@和歌山大)



DBについて

- 東京都統計年鑑 (1953-2003)
- 大都市 (1953-2003)
- ソウル市統計年鑑 (主に90年代後半のみ)

- 台北市 (2004年、2005年)

例1：東京都

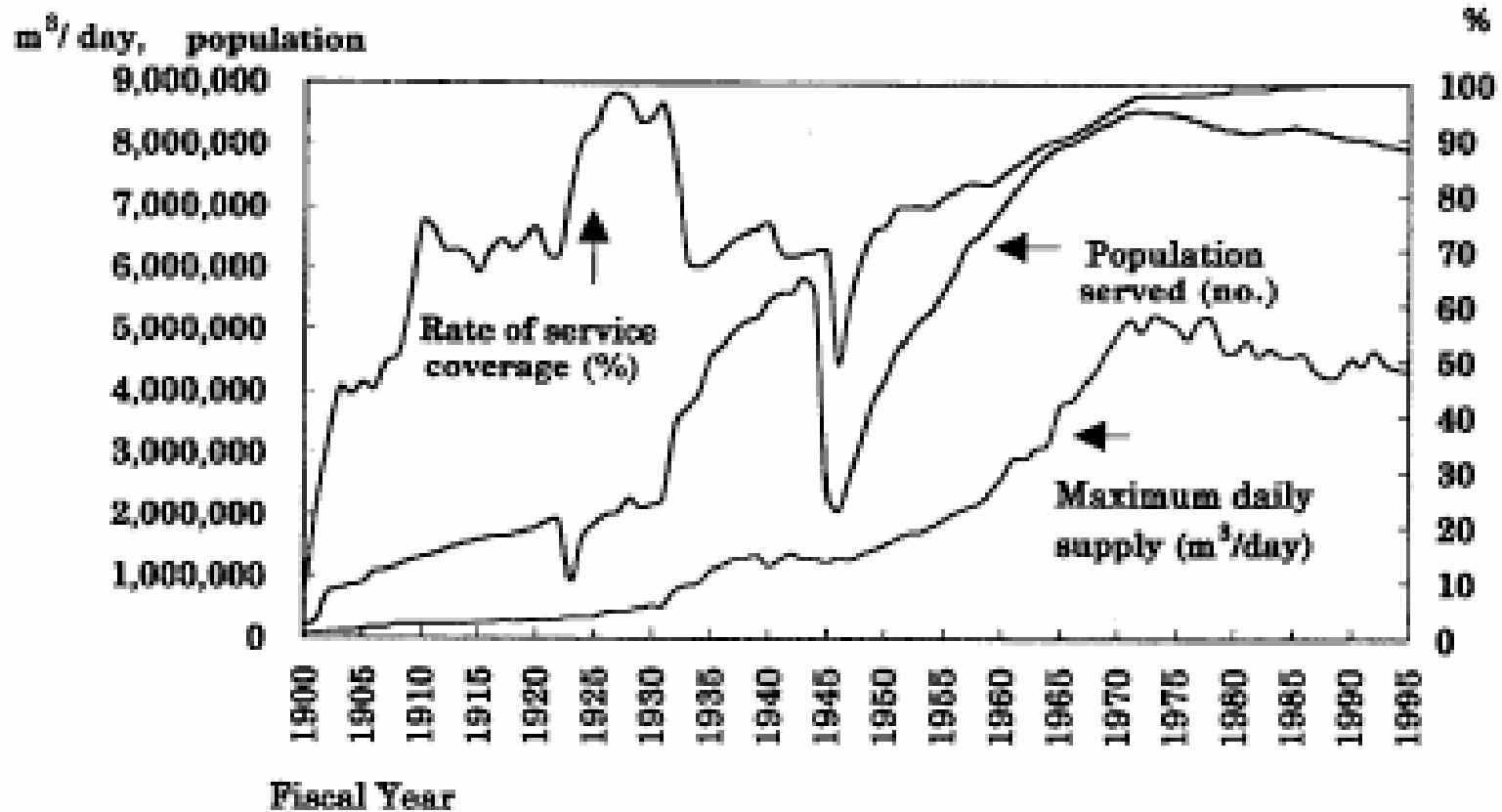


Fig. 2.1 Developments in Tokyo's water service, 1900–1995 (Source: Bureau of Waterworks, 1994)

例2：東京都

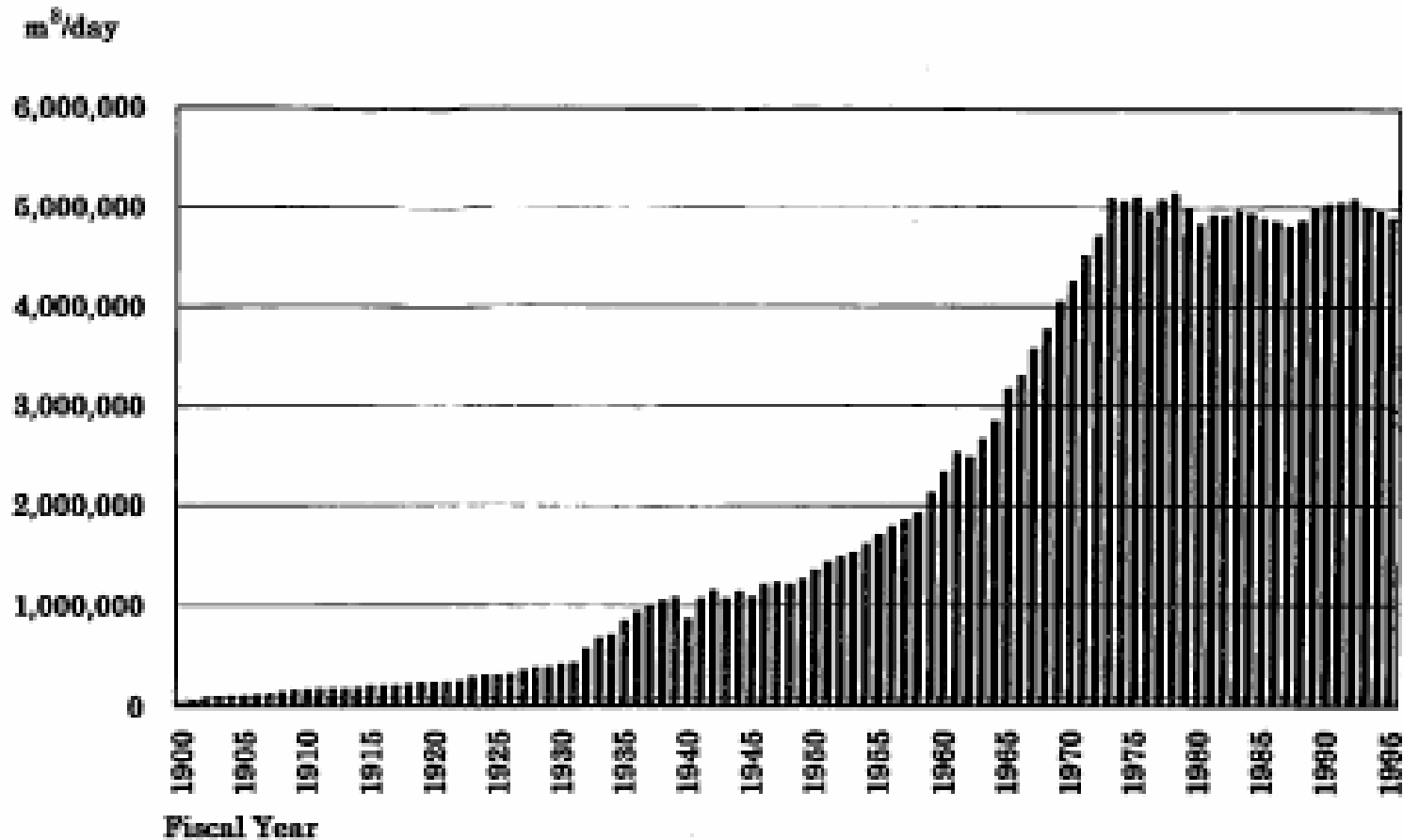


Fig. 2.2 Growth in the average daily water supply volume, 1900–1995 (Source: Bureau of Waterworks, 1994)

2006年度

- DB (東京、大阪、ソウル、台北)
- DPSEERにもとづく、都市発展ステージモデル
- 個別研究の開始
- 地図DBの準備

2006年度計画

- 2月 データ入力分の確認作業
- 3月下旬(予定)、できなければ4月上旬
グループ会議(2006年度第1回)
- 5月(GW明け) 第1回現地調査
ソウル 金子・藤原・岡村・カレン
- 9月 第2回現地調査
台北 金子・今井・松本・張・カレン
グループ会議(2006年度第2回)
- 11月
広島 成果報告会

課題など

- 地図データの作成
費用がかかりすぎる = > 共有化
- 長期統計の作成のための推計作業
- マニラ、バンコク、ジャカルタのデータ
- 作業量と成果、予算とのバランス
= > 他の追加的ファンディングが必要)
- Monsoon Asia Integrated Regional Study
(MAIRS), START, SSC, 24-28 April, 2006 (TBD,
China)